

地域かわら版

通算
第22号

地域がつながるフリーペーパー



平成29年度第1回

地域懇談会開催報告

地域を越えてつながろう!!

地域懇談会とは、自治会をはじめ様々な地域活動を行う人々がつながる交流の場です。今回は、各地区でのアクションプランの取組みを全体で共有し、中学校区の枠を越えてつながっていただくことを目的に、全地区合同で開催しました。



一中地区



二中地区



七生中地区



三中地区



四中地区



三沢中地区



大坂上中地区



平山中地区

1 日時・場所

平成29年6月3日(土)11:30~13:50 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール
《懇親懇談会》14:00~15:00 同 小ホール

2 主な内容

- (1) 地域協働課が今まで行ってきた地域コミュニティ施策の改革を「新しいコミュニティづくり白書」という形で振り返り、これからの方向性をお話しました。詳細は、当懇談会報告書とともに日野市HPに掲載されていますので、ご覧になってください。
- (2) 市内八中学校区で行っているアクションプランの実施状況について、各地区の実行委員から報告をしてもらいました。八中学校区の特色＝“色”が表れた多彩な発表となりました。
- (3) 各地区のアクションプラン代表者によるパネルディスカッションを行いました。どの地区も“苦勞”より“楽しかった”という思いが強かったようです。



3 参加人数

約400人 (※うち、懇親懇談会参加人数は140人)
自治会をはじめ、NPO、事業者など。



アクションプランとは??

地域課題を解決するには様々な方法がある中で、“地域の力で解決する取組み”をアクションプランと呼び、市内八中学校区ごとに検討し、平成28年度から実施しました。

アクションプランを進めていく中で、地域の広い範囲で人と人がつながりました。地域や団体を越えた協力関係が生まれ、一つの地域では取り組めなかったことにチャレンジする地域も生まれ始めています。今後も各中学校区のアクションプランを地域懇談会と並走しながら**継続**していきます。

市民によるコミュニティ再生を考える！

～人と人のご縁を育む“場”づくり～

これからの新しいコミュニティは、地域課題解決とまちの魅力向上を行う「まちづくり人」が主役です。

地域コミュニティ施策の改革を行ってきた中で、「まちづくり人」が活躍していくためには、まちの人たちがお互いに思いやりを持ちながら、縁側のようにゆるやかに交流できる「出会う場」が必要だということを学びました。

このまちに必要な“人と人のご縁を育む共創の場づくり”と一緒に考えてみませんか！

特別ゲスト：二水会・明星大学学生ボランティアの皆さん

二水会は、三中地区の有志の方々の集まりです。明星大学の学生ボランティアの皆さんと共に、地域を元気にする催しを第二水曜日に第二武蔵野台地区センターを利用して活動していらっしゃいます。

日時 平成29年12月16日（土）
開演 午後2時00分～午後4時00分
（開場午後1時30分）
会場 明星大学26号館102教室
場所：日野市程久保2-1-1

※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。
多摩モノレール中央大学・明星大学駅から徒歩なら5分。

対象 自治会活動・市民活動（プレーパーク、サロン活動、子ども食堂など）を行っている市民の方

◇◇ 申込方法 ◇◇

申込方法 電話・FAXにて申込み（先着100名）
申込期間 平成29年11月1日（水）～12月15日（金）
地域協働課 電話 042-581-4112
Fax 042-581-4221
（午前8時30分～午後5時15分、土日祝休み）

えんどう やすひろ
講師 延藤 安弘 氏



△▽ プロフィール △▽

工学博士 国立台湾大学客員教授
NPO法人「まちの縁側育くみ隊」代表理事
北海道大学工学部建築学科卒業
京都大学大学院博士課程中退
世田谷まちづくりセンター及び同ファンドの設立に関わる
自称「まち育ちの語り部」

いのうえ かくろう
司会 井上 赫郎 氏



△▽ プロフィール △▽

日野市地域協働
アドバイザー
株式会社まちづくり研究所
代表取締役
ほか

徒歩なら約
30kcalの消費！

「教育の明星大学の教育展」開催中！

第3期 日本を学ぶ

平成29年9月29日（金）～12月22日（金）

※ご入場は予約制ですが、この講座にご参加された方は、当日予約不要で観覧できます。

- ◆ 入場無料
- ◆ 会場 明星ギャラリー（資料図書館2F）
- ◆ 開館時間 9：00～17：00
- ◆ 休館日 日曜・祝日・大学行事日



奈良絵本『平家物語』

日野市地域包括支援センター多摩川苑

場所：日野市万願寺1-16-1

TEL：042-582-1707

多摩川苑のある一中地区は市内の他の地区と比較し**高齢化率が低く、子育て世代など若い方が多い**という特徴があります。そのため、高齢者に関する問題にさまざまな世代・団体などに**関心を持って頂く**ために、「**つながり**」により**地域の輪を作る取り組み**を行っています。



ユニバーサルカフェ たまたかカフェ



「世代や分野を越えて」

つながるユニバーサルカフェ「たまたかカフェ」を平成28年11月に開催しました。地域の多くの方々にご参加頂き、おいしいコーヒーを飲みながら、地域の団体や住民の方々が交流を深めて頂く機会となりました。

～今年度も開催決定！！～

平成29年11月23日(木・祝) 14:00～16:00にマザアス日野1階交流スペース(地域包括支援センター多摩川苑のある建物)にて「たまたかカフェ」を開催します。皆様お誘い合わせのうえご参加ください。参加費は無料です。お待ちしております。



夜のたまたかカフェ



「夜のたまたかカフェ」は地域のために自治会活動などをされている方々を主として、昼の「たまたかカフェ」とは趣を変え、働く方々も参加して頂けるよう、夜に開催しました。

参加された多くの方々から地域のための熱いメッセージを伺い、新たなつながりを作る機会となりました。

カフェの中では介護食の試食会も開催しました。

【参加した市職員の感想】



自治会やサークル、近隣にお住まいの方など、普段なかなかお話する機会のない様々な分野の方と交流ができました。みなさん、それぞれ思いを持って活動されていることを知ることができ、一中地区の**人の魅力に触れることができる場**でした。



地域包括支援センターとは？

日野市が運営主体となり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために、高齢者の方の日常生活の困りごとや介護等の相談が出来る窓口です。日野市内には地域ごとに9つセンターがありますので、お気軽にご相談下さい。保健・福祉・介護の専門職が対応致します。

一中地区は、「せせらぎ」と「多摩川苑」が担当です。その他の地区については、日野市高齢福祉課在宅サービス係(TEL：042-514-8496)にお問合せいただくほか、市HPをご覧ください。

二中地区

二中地区に新しく地域の居場所ができました。豊田駅南口の駅前である南口商店街の並びに月に1度、食事をしながら交流できる「はっぴーさろん」の皆様をご紹介します。

場所 日野市豊田4-35-28
TEL 090-9386-5303 (小林)

はっぴーさろんで、
ココロもカラダも
はっぴーに！



▲ はっぴーらいふ 小林さん



NPO法人 はっぴーらいふ 小林 裕子さん

はっぴーらいふは5年前、定年退職したばかりの仲間で「何か楽しい事業をしよう」と始めました。

40年近く職場と家の往復で過ごし、地域のつながりが薄かったので、いろいろな方々と気軽に親しめる活動を！と考え、現在、「はっぴーさろん」という形で、昔ながらのカレーと五目寿司を提供しながら、歌声喫茶や体操教室などを行っています。

この会場（豊田じぞうシルバーサロン）は豊田商店会の「地域をにぎやかにする一環で」というご厚意で、お借りすることになりました。

まだ始めたばかりで、「おっ、何かやっているね」と通りすぎる人もいますが、いつも来てくださる方も増えてきました。「楽しかった」「おいしかった。また来るね」「“閉じこもり”から一歩踏み出せたのよ」という言葉がうれしく、スタッフも元気になります。声を出して心と体の健康にも良いです。ぜひ皆様も気軽にご参加ください。

【はっぴーさろん】

- 日時：毎月第3土曜日 12:00～15:00
- 場所：豊田じぞうシルバーサロン
(日野市豊田4-35-28)
豊田駅南口エレベーターを降りて、豊田地蔵先7軒
- メニュー：カレー（大人300円・子ども無料）
五目寿司（300円）
ヨーグルト（100円）
コーヒー（100円）



▲みんなで歌を歌っている様子

- 問合せ：特定非営利活動法人
はっぴーらいふ
豊田4-43-6 玉藻荘202
090-9386-5303 (小林)

NPO法人はっぴーらいふの皆様の活動を見学させていただき、誰でも受け入れてくれるオープンさと、安心感があり、これこそ誰もが安心できる地域の居場所であると感じました。皆様どうぞ月に1回ははっぴーさろんへ！

七生中地区

南平駅西交流センターを「市民は施設利用者・建物は単なる貸施設」ではなく、地域の大切な居場所ととらえ、活動している「南平駅西交流センター運営委員会」の皆様をご紹介します。

場所：南平駅西交流センター
日野市平山4-18-1
都営平山四丁目アパート6号棟

南平駅西交流センターが、
ただ太極拳を習う場所から
「私たちの」
大切な地域の居場所に



南平駅西交流センター運営委員会
内垣内さん・矢崎さん・野澤さん（左から）



南平駅西交流センター運営委員会 会長 野澤 一弘さん

私たち南平駅西交流センター運営委員会は、当施設の利用者団体の集まりです。会員には、オカリナサークル・空手サークル・ダンスサークル等、様々なサークルが所属しています。施設を単に使用しているだけでは、私たち利用者同士も顔を合わせる機会はほとんどありませんが、利用者同士顔を合わせ、施設の名前の通り「交流の場」にしていこうと始まったのが、この委員会です。

現在は定期会・総会のほか、年に2回の草刈、各サークルの発表会や、もちつき大会等様々なイベントを実施し、交流の場・地域の居場所にしたいと考えています。

そんな活動をしていく中で、下記に紹介する会員である矢崎さんのように、自主的に庭の手入れをしようとしてくれる人が出てきました。これは、自分の居場所と感じてくれている証拠ではないかと思ひ、大変嬉しいことです。

これからも、会員、地域の皆様と協力していきながら、運営していこうと思ひます。



南平駅西交流センター運営委員会 会員 矢崎 功さん

私は、週一回の太極拳の練習のため、南平駅西交流センターに通っています。ある日、同センターの玄関の庭先にコケが茂っていることに気づきました。

そのコケを活かして「京風の庭園？」が出来ないものかと思ひました。そこで、センターの皆さん方のご協力を得て、写真のような庭（自称：南平庭園）が出来上がりました。良い庭づくりには、最低でも五年は必要だと言われていいますので、この地域の皆さんと一緒に楽しくこの庭を育てていきたいと思ひています。

皆様もどうぞ一度「南平庭園」を見に来てください。



▲庭の様子

南平駅西交流センターの皆様のお話を聞いて感じたことは、施設を「単なる公共施設」ではなく、「私たちの」居場所という感覚をお持ちだということです。

「私たちのまち」「私たちの公園」「私たちの祭」「私たちの地域」…

地域コミュニティ活性化の原点は、「私たちの」という感覚なのかもしれないと、運営委員会の皆様からヒントをいただきました。